

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	進路支援型放課後等デイサービス グッドジョブプレイス		
○保護者評価実施期間	令和7年1月16日		～ 令和7年2月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	77名	(回答者数) 36名
○従業者評価実施期間	令和7年1月16日		～ 令和7年2月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの工夫	・職員間でアイデアを出し合ったり、生徒や保護者から意見を聞いたりし、活動プログラムの計画を立てている。	・活動を通しての成果や成長を生徒本人や保護者が実感できるように、整理分析を行ない、提示できるようにする。
2	進路等に関する情報提供の機会	・保護者交流会や保護者向け講座、講演会を開催し、進路に関する情報提供を継続して行なっている。	・モニタリングや個別面談の際に、本人や保護者が知りたいと感じている内容を把握し、必要な情報の収集と提供を行なうようにする。
3	安心感をもてる通所と支援内容	・職員と生徒との関係作りや、安心できる雰囲気作りを大切にしている。	・共感的な関わりを継続して行なう。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者向けの交流会や家族支援の実施	・保護者交流会の回数が少なかったため、参加できない保護者もいらした。 ・ペアレントトレーニング等の家族支援をあまり行なえていない。	・保護者交流会の回数を増やすように計画する。 ・外部講師に依頼し、専門的な家族支援やペアレントトレーニングを行なう機会を提供する。
2	対応マニュアルや避難訓練実施についての周知	・事故防止や緊急時の対応マニュアルを作成しているが、保護者への周知ができていない。 ・定期的に避難訓練を実施しているが、把握されていない保護者もいらした。	・対応マニュアルの周知を図るようになる。 ・避難訓練の実施について、事前事後の情報発信を行なう。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会の提供	・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会を設けていない。	・交流イベントを開催する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 進路支援型放課後等デイサービス グッドジョブプレイス

公表日 2025年2月26日

利用児童数 77

回収数 36

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	32	4			・子どもにとって、広すぎず、人や物を認識しやすくして良いと思います。 ・活動内容によって場所を変えているので、適切であると思う。	・今後も活動場所や進め方を調整しながら、活動しやすい環境づくりを心掛けていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	35	1				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	2		2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35	1				
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32	4			・苦手な事も、心配な事も、対応してもらえると安心感があり、とてもありがたいです。 ・今の支援で充分ありがたいのですが、高校卒業後の事を考慮すると、ディスカッションできる場がもう少しあるといいと思います。	・今後も生徒一人一人の特性や状況、ニーズを把握しながら、必要な支援を行ってまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	35	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	33	1		2		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32	1		3		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	34			2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	35			1	・学校や家庭で体験できないような事も多く活動に取り入れてくださっていて、そこでの活動も本人の自信により大きくなっていると感じています。	・安心して様々な経験ができるように、活動プログラムの工夫と支援を継続してまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	8	3	17	・周囲の理解があり、安全な交流ができるのであれば、機会を得たいと考えております。	・生徒の状況を踏まえながら、交流機会を設けることを検討します。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	34	1		1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35			1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	34		1	1	・都合がつかず参加できませんでしたが、またの機会にぜひともお知らせいただきたいです。	・今後も継続して研修や情報提供の機会を設けてまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	32	4			・中学生になり、送り迎えの際に職員の方と児童子弟の様子についてこちらから報告する機会にはばばないので、どちらでもないになりました。何か問題があった際は、相談しやすいです。事業所からは毎回写真付きでサービス提供記録で子どもの様子はわかります。	・サービス提供記録や相互連絡、モニタリングを通して、状況を共有し、共通理解を図るように努めます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	5	1	3	・1年に1回面談はあります。助言というより現状の確認と計画書の説明であったように思います。	・モニタリングや個別面談の際に状況を把握し、助言等ができるように努めます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	6		1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	5	4	8	・回数が増えても良い。 ・我が家は兄妹の関係性により、一緒に活動するのは難しいのですが、他のご家庭にはとてもありがたいイベントだろうと思います。	・保護者交流会の回数を増やせるように計画します。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	4		3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33	2		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	34			2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	4		8		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	4		14		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	2		9		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	3		11		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	32	3		1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	28	6		2	・面倒臭いから行かないって日が多々ありますが、行ったら楽しんでいる気がします。	・楽しみに通所できるように、関わりを大切に、活動や支援の工夫に努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	34	2			・細やかな対応に感謝しております。ありがとうございます	・活動や支援の充実を図ることに努めます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		進路支援型放課後等デイサービス グッジョブプレイス				
		公表日 令和7年2月26日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			・時間を分けているから問題ないだが、事業所内で全員での活動は難しい。 ・PCを使用する活動はPCが足りなくなる場合は受け入れが難しい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		・一時期、急な欠員により生徒数に対する職員配置が困難だった。生徒の状況ではなく、その日を安全に終わらせることで手一杯だった。 ・PCを使用する活動により配置数が足りない日もあったが、現在は充実している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・物の置き場所を決め、適切に物の管理や使用ができるように工夫している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日、清掃や整理整頓を行なっている。	・手が届かないところの清掃、冷暖房器具の清掃が気になるが勤務時間内では難しい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・仕切りのある机を用意し、希望する生徒が使用できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・日々の打ち合わせで、振り返りや改善案について話し合っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・打ち合わせの中で、業務について意見交換をする時間を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・研修を受講する機会が定期的にある。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・利用生徒と保護者のニーズや状況を把握し、分析しながら、計画を作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・計画と支援内容について、共有や検討を行なっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・項目に沿って、目標や支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・アイデアを出し合い、活動プログラムを立てている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・これまでの活動プログラムを振り返りながら、固定化しないように設定している。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援終了後、気になることし、翌営業日の朝の打ち合わせ時に振り返りを行なっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・活動の中で、複数の選択肢から自己決定する機会を設け、個々の状況に合わせた支援を行なっている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・保護者の同意を得た上で、医療や障害福祉サービス、学校との連携を図っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・利用生徒が主に中高生のため、在学中の学校等とは情報共有を行なっているが、就学前の園などとは共有を行っていない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	○		・地域の他の子どもとの交流はないが、年に1～2度マルシェなどのイベントを行っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・進路選択に関することや性教育に関することなど、研修や情報提供を行なっている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			・保護者同士の交流会を開催しているが、日程が合わず参加できない保護者もいらっしゃるため、定期的に複数回、開催するように企画する。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○				
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○			・マルシェイベントなど生徒の保護者や関連機関の方の招待はしているが、地域住民は招待してはいない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○				
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			・定期的に避難訓練を行なっているが、把握していない保護者もいらっしゃるため、事前事後に情報発信を行なうようにする。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○				
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○			・利用開始時に記入された情報シートによるアレルギー、好き嫌い、薬との飲み合わせなどは毎回確認し配慮しているが、医師の指示書に基づいているか分からない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○				
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○				
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。				○	・朝礼の振り返りでやっている。また、事前にその日來所する生徒に会わせて人員配置を行っている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○				
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○					